

## 令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用状況報告

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルスの対策として、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施することができる交付金として、国において創設されました。本町では、令和4年度分の交付対象経費として、約2.0億円の交付決定を受けて、5つの分野で32の事業を実施しました。詳細等について、下記及び別紙のとおり公表いたします。

### 1. 交付金の交付状況

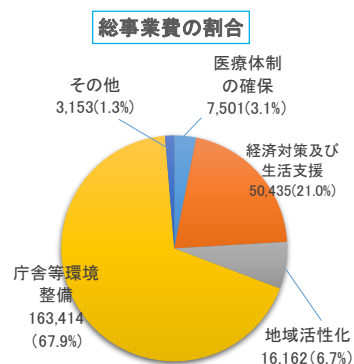
区分	交付限度額(千円)
令和4年度第1次 (地方単独※令和3年度からの翌債承認分)	9,477
令和4年度第2次 (通常分・コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)	132,810
令和4年度第3次 (電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金分)	28,880
令和4年度第4次(通常※国庫補助事業分)	29,160
合計	200,327

※国庫補助事業の地方負担額の算定分のこと

### 2. 交付金の活用状況

本町では、どのような分野に交付金を活用したのかわかりやすく公表するために、以下の5つの分野に事業を分けて、整理しています。また、各事業について、どのような効果があったのかを検証するため、個別の事業について、次項以降で事業実績や成果を評価しています。

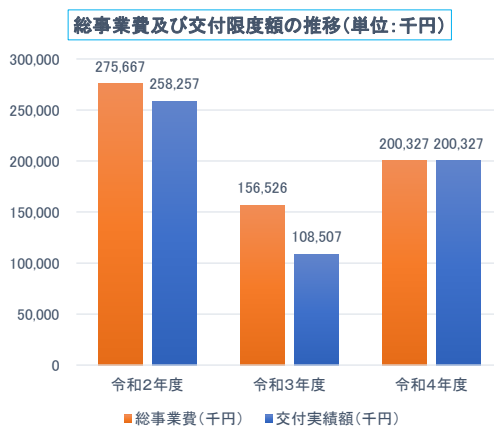
事業種別	事業数	総事業費(千円)	交付金充当額(千円)
1.医療体制等の確保	6	7,501	7,501
2.経済対策及び生活支援	9	50,435	50,435
3.地域活性化	1	16,162	16,162
4.庁舎等環境整備	14	163,414	163,414
5.その他	2	3,153	3,153
合計	32	240,665	240,665



※各数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

### ※参考 交付金事業費及び交付金限度額の推移

年度	総事業費(千円)	交付実績額(千円)
令和2年度	275,667	258,257
令和3年度	156,526	108,507
令和4年度	200,327	200,327



令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業実績及び効果検証

(単位:円)

No	事業名	区分	計画申請時の事業概要等 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の根拠(交付対象者、対象施設等)	計画申請時の成果目標	所管課	事業始期	事業終期	総事業費(決算額)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				事業実績	事業実施後の具体的な成果	
									国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
合計									240,665,300	240,665,300	53,203,158	186,229,142	0	1,233,000	
1	物価高騰に伴う介護事業所等支援給付金支給事業	1.医療体制等の確保	①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けた介護事業所等に給付金を支給し負担軽減を図る。 ②燃料費高騰の影響を受けている町内介護事業所等に対し、補助金を支出する事業費に充当 ③2,300,000円 介護保険事業所(19施設×100,000円) 障がい福祉施設(2施設×100,000円) 高齢者等サービス事業者(2団体×100,000円) ④町内の介護保険事業所、障がい福祉施設、高齢者等サービス事業者(全23カ所)	給付対象事業所数 23事業所	福祉介護課	R4.9.16	R4.10.25	2,300,000	2,300,000	0	2,300,000	0	0	【物価高騰対策介護事業所等緊急支援給付金支給事業実績】 対象事業所:23事業所(1事業所あたり100,000円) 2,300,000円 (内訳) 介護保険事業所等:20事業所 障がい者支援事業所:3事業所	新型コロナウイルス感染症の影響下において原油価格や電気・ガス料金等を含む物価高騰の影響を受けている介護事業所等の負担軽減と安定的サービスの確保が図れた。 支給率:100%(23件(支給事業所)/23(申請者)件)
2	物価高騰に伴う学校給食費支援事業	2.経済対策及び生活支援	①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰に伴う子育て世代に対する支援を行う。 ②高騰した分に対する食材購入費(教職員は除く) ③:令和4年10月～令和5年3月分給食費13,208千円 ・横瀬小学校児童 329人×3,800円×6か月=7,501,200円 ・横瀬中学校生徒 206人×4,400円×6か月=5,438,400円 ・特別支援学校小学部児童 6人×3,800円×6か月=136,800円 ・私立・町外中学校・特別支援学校中学生生徒 5人×4,400円×6か月=132,000円 ④横瀬町内在住の横瀬町立横瀬小中学校及び私立小中学校・特別支援学校に通学する児童生徒の保護者	給食費助成対象者数 546人	教育委員会	R4.10.1	R5.3.31	12,985,200	12,985,200	0	12,985,200	0	0	物価高騰に伴う学校給食の保護者負担を軽減するため、令和4年10月から令和5年3月までの給食費を無償化した。 【支出実績】 ・横瀬小学校児童 331人×3,800円×6か月=7,546,800円 ・横瀬中学校生徒 206人×4,400円×6か月=5,438,400円	子育て世代の経済的な負担軽減を図った。 補助率100%(補助該当者537人/対象者537人)
3	物価高騰対策プレミアム付地域振興券事業	3.地域活性化	①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けている地域住民を支える緊急経済対策としてプレミアム付商品券(シリアルNo入り)を発行。プレミアム分を上乗せし販売することで、町民の消費を刺激し町内の経済活性化を図る。 ②補助事業として実施予定。補助事業実施者に対し事業費及び事務費補助金を概算交付し、商品券販売数・換金数等実績報告を受け精算を行う。 ・プレミアム付商品券事業費補助金12,000千円(8,000セット×1,500円) ・プレミアム付商品券事務費補助金4,500千円(印刷費等) ③プレミアム付商品券事業費補助金12,000千円(8,000セット×1,500円) 事務費:換金業務1,000千円 印刷業務1,200千円 販売業務1,200千円 広報業務1,100千円 ④横瀬町民	総発行額 52,000,000円 (内プレミアム分 12,000,000円) 総発行枚数 104,000枚を完了する。 また全校数の利用のためHP・SNS等も活用し広報・周知を行う。	振興課	R4.10.7	R5.3.31	16,162,000	16,162,000	0	16,162,000	0	0	物価高騰に伴う学校給食の保護者負担を軽減するため、令和4年10月から令和5年3月までの給食費を無償化した。 【支出実績】 ・横瀬小学校児童 331人×3,800円×6か月=7,546,800円 ・横瀬中学校生徒 206人×4,400円×6か月=5,438,400円	町独自の支援により、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた住民及び地域振興としての事業者に対して生活及び事業継続に対する一助となった。 【支出実績】 ・横瀬小学校児童 331人×3,800円×6か月=7,546,800円 ・横瀬中学校生徒 206人×4,400円×6か月=5,438,400円 51,662,000円÷52,000,000円=99.35% 換金率 99.35%

4	横瀬町燃料代等 高騰緊急支 援金(令和4年 度国予算分 (B'))	2.経済対策及 び生活支援	①新型コロナウイルス感染症拡大及び燃料代等の高騰対策に苦慮している地域事業者に対して緊急的に給付金を支給する。 ②物価高騰・燃料代高騰補助金14500千円(340件) 運送業許可(法人・個人) 100千円(10件) 法人 50千円(180社) 個人事業主 30千円(150者) 外 新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等の一時的な雇用等に必要の人件費等1,272千円 ③事業費14,500千円 事務費1,272千円 (人件費:500千円(会計年度任用職員分)、諸経費772千円) ④町内に本店を有する法人又は住所を有する個人事業主	全対象事業者 への交付 (申請勧奨、リ マインド通知の 発送等)	振興課	R4.11.2	R5.3.6	2,946,800	2,946,800	0	2,946,800	0	0	町内の222事業者に対して各種別ごとに支援金を支給した。 【支出実績】 運送事業者100,000円×9件 =900,000円 法人50,000円×84件 =4,200,000円 個人事業主30,000円×129件 =3,870,000円	町独自の支援により、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業所等の事業継続の一助となった。 また、申請時のヒアリングにより現状把握及び今後の課題を見出すことができた。 支給率99%(222件(支給事業所)/224(申請者)件)
5	横瀬町燃料代等 高騰緊急支 援金(令和4年 度国予算分 (B'))	2.経済対策及 び生活支援	①新型コロナウイルス感染症拡大及び燃料代等の高騰対策に苦慮している地域事業者に対して緊急的に給付金を支給する。 ②物価高騰・燃料代高騰補助金14500千円(340件) 運送業許可(法人・個人) 100千円(10件) 法人 50千円(180社) 個人事業主 30千円(150者) 外 新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等の一時的な雇用等に必要の人件費等1,272千円 ③事業費14,500千円 事務費1,272千円 (人件費:500千円(会計年度任用職員分)、諸経費772千円) ④町内に本店を有する法人又は住所を有する個人事業主 ※No.4事業の事業費に対してR3年度予算分を充てるもの	利用可能店舗 100店舗 (現在利用店 舗 90店舗)	振興課	R4.10.7	R5.3.27	7,024,103	7,024,103	0	7,024,103	0	0	町内の222事業者に対して各種別ごとに支援金を支給した。 【支出実績】 運送事業者100,000円×9件 =900,000円 法人50,000円×84件 =4,200,000円 個人事業主30,000円×129件 =3,870,000円	町独自の支援により、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた事業所等の事業継続の一助となった。 また、申請時のヒアリングにより現状把握及び今後の課題を見出すことができた。 支給率99%(222件(支給事業所)/224(申請者)件)
6	地域振興拠点 施設における3 密対策事業	4.庁舎等環境 整備	①R3年度に新設した地域振興拠点施設(商品開発施設兼販売所)敷地内における新型コロナウイルス感染症等の拡大防止を図るため、敷地内の既存倉庫(13.5坪)を解体することにより、移動可能な駐車スペース等を拡充するとともに屋外空間のゆとりを確保する。 ②工事請負費 1,223,310円 ③本工事費(軽量鉄骨倉庫解体工)83,160円×13.5坪=1,122,660円 諸経費100,650円(1式) ④旧学校給食調理場倉庫	対象施設ク ラスタ発生件 数0件	まち経営 課	R4.12.23	R5.3.20	880,000	880,000	0	880,000	0	0	地域振興拠点施設(商品開発施設兼販売所)敷地内の既存倉庫の解体工事を実施した。 【支出実績】 横瀬町旧学校給食調理場車庫解体工事 880,000円	当該倉庫を解体することで、移動可能な空間を確保することができ、敷地内での感染症発生を抑制することができた。 クラスタ発生件数0件
7	地方創生テレ ワーク推進交 付金	4.庁舎等環境 整備	①「デジタル田園都市国家構想」推進の一環として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い希薄となった、地域間の交流を取り戻し、地方への新たな人の流れを創出するため、R3年度に町に新設されたサテライトオフィス等の施設整備・運営・利用促進等を行うもの。 ②デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係るテレワーク拠点整備設計・整備、イベントプロモーション、進出企業定着のための補助金事業に充当。 ③【事業総額】 (1)委託料:3,070千円(テレワーク体験イベントプロモーション委託、内装・什器用合板加工委託料) (2)工事請負費:18,260千円(テレワーク拠点整備改修建築工事請負費) (3)補助金:20,000千円(進出企業定着・地域活性化支援)@最大20,000千円/件) ④(1)(2)エリア898 (3)進出企業、LivingAnywhereCommons横瀬	拠点利用者 数:520人	まち経営 課	R4.8.1	R5.3.29	36,387,795	36,387,795	28,726,575	7,661,220	0	0	R3年度に整備したサテライトオフィス等の更なる利用促進のため、進出企業定着のための施設整備等を行った。 【支出実績】 (1)委託料:2,486千円(内装・什器用合板加工委託料) (2)工事請負費:14,597千円(テレワーク拠点整備改修建築工事請負費等) (3)補助金:19,305千円×1事業者(進出企業定着・地域活性化支援)	(1,2)子育て世帯向けのテレワーク施設として、中心地における新たな拠点として整備することができた。 (3)企業進出の拠点整備に係る補助を行うことで、企業の進出に繋がった。(1件、(株)SCHEMA)

8	地方創生テレワーク推進交付金拠点整備事業	4.庁舎等環境整備	①「デジタル田園都市国家構想」推進の一環として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い希薄となった、地域間の交流を取り戻し、地方への新たな人の流れを創出するため、R3年度に町に新設されたサテライトオフィス等の施設整備・運営・利用促進等を行うもの。 ②デジタル田園都市国家構想推進交付金事業に係るテレワーク拠点整備設計・整備、イベントプロモーション、進出企業定着のための補助金事業に充当。 ③【事業総額】 (1)委託料:3,070千円(テレワーク体験イベントプロモーション委託、内装・什器用合板加工委託料) (2)工事請負費:18,260千円(テレワーク拠点整備改修建築工事請負費) (3)補助金:20,000千円(進出企業定着・地域活性化支援)(@最大20,000千円/件) ④(1)(2)エリア898 (3)進出企業、LivingAnywhereCommons横瀬計画No.7地方創生テレワーク交付金事業のみ出し分を地方単独事業分として整理するもの	拠点利用者数:520人	まち経営課	R4.8.1	R5.3.29	1,915,305	1,915,305	0	1,915,305	0	0	R3年度に整備したサテライトオフィス等の更なる利用促進のため、進出企業定着のための施設整備等を行った。 【支出実績】 (1)委託料:2,486千円(内装・什器用合板加工委託料) (2)工事請負費:14,597千円(テレワーク拠点整備改修建築工事請負費等) (3)補助金:19,305千円×1事業者(進出企業定着・地域活性化支援)	(1,2)子育て世帯向けのテレワーク施設として、中心地における新たな拠点として整備することができた。 (3)企業進出の拠点整備に係る補助を行うことで、企業の進出に繋がった。(1件、(株)SCHEMA)
9	デジタル田園都市国家構想推進交付金	4.庁舎等環境整備	①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる窓口の申請・手続きを効率化するため、窓口申請のデジタル化及びデータ連携基盤の整備を行う。このデジタルイノベーションの実装に伴う町の活性化・活力向上により、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を図る。 ②窓口申請のデジタル化及びデータ連携基盤のシステム構築に係る委託とそれらに伴うOA機器の購入費に充当。 ③【事業総額】 (1)システム構築委託料:21,670千円 -本人確認・データ連携システム構築(13,200千円) -データ連携基盤整備(2,750千円) -PJ全体管理・NW構築(5,720千円) (2)OA機器購入費:5,170千円 -窓口用タブレット端末(@165千円×10台=1,650千円) -入力用タブレット端末(@55千円×10台=550千円) -ネットワーク機器一式(2,750千円) -プリンター(@55千円×4台=220千円) ④役場庁舎	申請利用件数:180件	まち経営課	R4.12.23	R5.3.31	19,107,000	19,107,000	10,615,000	8,492,000	0	0	申請書のデジタル化と、それによるデータ集積のシステムを構築、環境の整備を行った。 【支出実績】 委託料:21,230,000円 (システム構築19,470,000円) (備品整備1,760,000円)	システム導入により、窓口来庁者の申請書記載に係る負担の軽減につながった。
10	窓口業務効率化事業	4.庁舎等環境整備	①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる窓口の申請・手続きを効率化するため、窓口申請のデジタル化及びデータ連携基盤の整備を行う。このデジタルイノベーションの実装に伴う町の活性化・活力向上により、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を図る。 ②窓口申請のデジタル化及びデータ連携基盤のシステム構築に係る委託とそれらに伴うOA機器の購入費に充当。 ③【事業総額】 (1)システム構築委託料:21,670千円 -本人確認・データ連携システム構築(13,200千円) -データ連携基盤整備(2,750千円) -PJ全体管理・NW構築(5,720千円) (2)OA機器購入費:5,170千円 -窓口用タブレット端末(@165千円×10台=1,650千円) -入力用タブレット端末(@55千円×10台=550千円) -ネットワーク機器一式(2,750千円) -プリンター(@55千円×4台=220千円) ④役場庁舎 計画No.9デジタル田園都市国家構想推進交付金事業のみ出し分を地方単独事業分として整理するもの	申請利用件数:180件	まち経営課	R4.12.23	R5.3.31	2,123,000	2,123,000	0	2,123,000	0	0	申請書のデジタル化と、それによるデータ集積のシステムを構築、環境の整備を行った。 【支出実績】 委託料:21,230,000円 (システム構築19,470,000円) (備品整備1,760,000円)	システム導入により、窓口来庁者の申請書記載に係る負担の軽減につながった。

11	デジタル田園都市国家構想推進交付金	4.庁舎等環境整備	①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる有害鳥獣対策の効率化・担い手確保、有害鳥獣対策への理解醸成を目的とする。また、今まで有効活用されていなかった捕獲鳥獣の資源化の促進し、ジビエを地域ブランド化し、新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光業のあらたな誘客の資源としての活用を図る。 ②有害鳥獣対策のICT化に必要な機器の購入及びシステム導入の委託を行う。 ③鳥獣被害対策システム構築事業委託料7,020千円(設計・企画費1,320千円、ICT機器親機350千円、ICT機器中継器900千円(450千円×2)、ICT機器子機3,400千円(45.3千円×75)、管理用PC 250千円、通知機器100千円(50千円×2)、タブレット端末300千円(100千円×3)、プロジェクター100千円、消耗品300千円) ④町鳥獣害対策協議会、武甲猟友会	・地元猟友会のシステム利用人数 10人 ・野性鳥獣による農業被害面積 1.2ha ・捕獲件数 40件 ・新規若年猟友会員数 1名 ・捕獲有害鳥獣の有効活用事例数 1件	振興課	R4.10.24	R5.3.31	5,988,210	5,988,210	3,326,783	2,661,427	0	0	デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる有害鳥獣対策の効率化・担い手確保、有害鳥獣対策への理解醸成及び捕獲鳥獣の有効活用を目的とし、有害鳥獣対策のICT化に必要な機器の購入及びシステム導入の委託を実施した。 【支出実績】 ・委託料 5,988,465円 ・備品購入費 397,078円 ・消耗品費 258,024円	システム導入により、有害鳥獣捕獲従事者の負担軽減や捕獲鳥獣の有効活用を行うとともに、農業被害面積も前年と比べ減少することができた。 ・システム利用人数 11人 ・捕獲件数 8件 ・野生鳥獣による農業被害面積 0.89ha ・捕獲有害鳥獣の有効活用事例数 1件
12	有害鳥獣被害防止事業	4.庁舎等環境整備	①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる有害鳥獣対策の効率化・担い手確保、有害鳥獣対策への理解醸成を目的とする。また、今まで有効活用されていなかった捕獲鳥獣の資源化の促進し、ジビエを地域ブランド化し、新型コロナウイルスにより落ち込んだ観光業のあらたな誘客の資源としての活用を図る。 ②有害鳥獣対策のICT化に必要な機器の購入及びシステム導入の委託を行う。 ③鳥獣被害対策システム構築事業委託料7,020千円(設計・企画費1,320千円、ICT機器親機350千円、ICT機器中継器900千円(450千円×2)、ICT機器子機3,400千円(45.3千円×75)、管理用PC 250千円、通知機器100千円(50千円×2)、タブレット端末300千円(100千円×3)、プロジェクター100千円、消耗品300千円) ④町鳥獣害対策協議会、武甲猟友会 計画No.10デジタル田園都市国家構想推進交付金事業のはみ出し分を地方単独事業分として整理するもの	・地元猟友会のシステム利用人数 10人 ・野性鳥獣による農業被害面積 1.2ha ・捕獲件数 40件 ・新規若年猟友会員数 1名 ・捕獲有害鳥獣の有効活用事例数 1件	振興課	R4.10.24	R5.3.31	665,357	665,357	0	665,357	0	0	デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIによる有害鳥獣対策の効率化・担い手確保、有害鳥獣対策への理解醸成及び捕獲鳥獣の有効活用を目的とし、有害鳥獣対策のICT化に必要な機器の購入及びシステム導入の委託を実施した。 【支出実績】 ・委託料 5,988,465円 ・備品購入費 397,078円 ・消耗品費 258,024円 計画No.11デジタル田園都市国家構想推進交付金事業のはみ出し分を地方単独事業分として整理するもの	システム導入により、有害鳥獣捕獲従事者の負担軽減や捕獲鳥獣の有効活用を行うとともに、農業被害面積も前年と比べ減少することができた。 ・システム利用人数 11人 ・捕獲件数 8件 ・野生鳥獣による農業被害面積 0.89ha ・捕獲有害鳥獣の有効活用事例数 1件
13	学習用ドリル整備事業	4.庁舎等環境整備	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校時等に家庭学習を行えるよう学習用ドリル及びプログラミング教材の整備を行う。 ②ドリル及びプログラミング教材使用料 1,079,704円 ③534名分 ④小中学校の児童生徒	休校時に80%のクラスで遅延なくオンライン授業を行う。	教育委員会	R4.4.28	R5.3.31	1,079,704	1,079,704	0	1,079,704	0	0	家庭学習を行えるよう学習用ドリル及びプログラミング教材の整備を行った。 【支出実績】 ・学習用ドリル横瀬小学校 73,526円×8か月＝588,200円 ・学習用ドリル横瀬中学校 46,038円×8か月＝368,304円 ・プログラミングアプリ 123,200円	平時から授業で使い方を学び、家庭学習で活用することで、緊急時に学びを止めることなく実施することができた。 活用率100%
14	地域経済基盤強化事業(芦ヶ久保駅リノベーション事業)	4.庁舎等環境整備	①コロナ禍における人の移動の鈍化、地域内の消費の落ち込みを抑制する。昨年度から活動を開始した地域経済循環のための地域商社の活動を促進する。 ②施設整備工事、地域特産品自動販売機を購入する。 ③事業費内訳 (1)工事請負費9,500千円(建築工事9,500千円(電気、内装、外装等工事)) (2)備品購入費6,000千円(冷凍・冷蔵自動販売機3,500千円、休憩室内備品購入費1,600千円、施設付随備品900千円) (3)委託費6,000千円(内装・什器用合板加工委託料5,990千円、清掃・ごみ処分委託料10千円) (4)施設に付随する消耗品費等600千円 ④芦ヶ久保駅前売店	・地元農産物等、地域からの年間仕入高:100万円(R5年度) ・年間売上高:800万円(R5年度)	まち経営課	R4.11.16	R5.3.31	21,925,659	21,925,659	0	21,925,659	0	0	地元の特産品が無人で購入でき、観光客・住民らが休憩できるスペースを整備した。 【支出実績】 (1)建築工事7,841千円(電気、内装、外装等工事を含む) (2)備品購入費7,351千円(冷凍・冷蔵自動販売機3,464円、休憩室内備品購入費等3,887円) (3)委託費6,428千円(内装・什器用合板加工委託料5,989千円、清掃・ごみ処分委託料439千円) (4)施設に付随する消耗品費等306千円	駅前にあった老朽化していた施設をリニューアルし、観光客・住民らが休憩できるスペースができた。R5年度には自動販売機で地域の特産品も販売できるため、積極的に活用していきたい。
15	国際交流推進事業	5.その他	①町内在住の外国人に対するコロナ対策情報を含む各種行政サービスの情報提供体制を充実させるため、各種文書の多言語化を図ってゆく。また、町内在住の外国人との異文化交流イベントや外国人コミュニティー構築の支援などを通して、コロナ禍でも孤独やストレスを感じることなく、自己実現できる取り組みを実施する。 ②町の情報の多言語化に要する翻訳費用及び多文化共生、異文化理解に資するイベントの通訳費用・旅費など ③③翻訳委託料174千円(2,500字×3言語×21円×税)、通訳謝金57千円(57千円×1回)、旅費14千円(3.5千円×4回) ④横瀬町	・地域在住の外国人同士、及び町民との交流会あるいは海外の事情を紹介するパネル展の開催:2回以上 ・町紹介パンフレットの英語化の実施	まち経営課	R4.9.13	R5.3.9	112,659	112,659	0	112,659	0	0	12月10日に町内在住のインドネシア人に講師となりインドネシア料理を町民と一緒に作るイベントを開催し11名(うち子供2名)が参加した。海外の料理文化について理解を深めてもらうと同時に、講師には、町民に自国の文化を紹介することで、自己実現に結び付けてもらう機会とした。 【支出実績】材料費として8,587円を支出し、参加費として4,500円を徴収した。 ・まち紹介の英語のパンフレットは費用の関係で実現しなかった。他方、育児関連については母親が外国人の場合、言語が大きな壁となることから3月と9か月児用が韓国語とタイ語で問診票を作成し多言語化を図った。 【支出実績】翻訳費として95,844円を支出した。	インドネシア料理イベント開催後の1月下旬、講師は郡内在住のインドネシアの友人を併し町の施設を訪れ、インドネシア料理をおすそ分けするなどして交流を図っており徐々にではあるが交流が促進されてきた。引き続き交流等を深めていきたい。



20	ベビーケアルーム設置事業	1.医療体制等の確保	①横瀬町移住・定住・交流等推進拠点施設「エリア898」を利用する住民や観光客の子育て世帯に対して、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底した安心・安全な環境を提供するため、個室の授乳スペース(ベビーケアルーム)を設置する。ベビーケアルームは常に空気が循環し、除菌機器や抗菌コーティングが施された個室のスペースで、設置により子育て世代へ優しい施設として利用の拡大が見込まれる。 ②ベビーケアルーム設置費用 ③(対象)町内の子育て世帯・観光客(単備等)1台設置 3,083,190円 ④公共施設に設置し、外出時の授乳、おむつ替えなどのベビーケアに利用。	利用満足度 50%	健康子育て課	R4.10.28	R5.1.4	3,083,190	3,083,190	0	3,083,190	0	0	町内施設である「エリア898」に感染症防止対策を徹底した個室型の授乳スペース(ベビーケアルーム)を設置した。 【支出実績】 ベビーケアルーム1台 3,083,190円	ベビーケアルームを設置したことで、「エリア898」を利用する住民や観光客の子育て世帯に対して、安心して外出できるような施設となった。 設置R4.12.25から現在R5.9.7までの利用者数 59人 アンケート結果と利用満足度 回答数 6件 満足している 5件 やや満足している 1件 利用満足度100%
21	日本一歩きたくなる町推進整備事業	2.経済対策及び生活支援	①コロナ禍における観光誘客について、感染防止に努めた上で促進させるため、従来の1カ所の会場で完結するイベントから、町内各観光施設(寺・棚田等)を周遊するイベントを推進する。また、町が管理する遊歩道に、必要に応じて柵・階段の設置や整地を行い、歩きやすく安全に整備し、横瀬町が目指す「日本一歩きたくなる町」を推進する。それにより感染リスクを抑えた観光誘客を行うことができる。 ②ウォーキングイベント開催費、遊歩道整備工事費 ③・日本一歩きたくなる町イベント開催事業2,600千円(チラシ等作成700千円、人件費1,200千円(=1,000円×15人×80時間)、案内板3千円×50枚、消耗品等550千円) ・兵ノ沢遊歩道木柵整備工事800千円(800千円×1カ所) ・町内ハイキング道整備4,000千円(5カ所) ④イベント:(一社)横瀬町観光協会 外。整備対象施設:町内遊歩道各所	R4年観光入込客数 631千人(参考 R3年=574千人の1.1倍)	振興課	R4.5.9	R5.3.19	6,654,297	6,654,297	0	6,654,297	0	0	【支出実績】 ①遊歩道の整備 ・兵ノ沢遊歩道 1,075,800円 ・農村公園遊歩道 799,700円 ・根古屋城址遊歩道 616,000円 ・芦ヶ久保遊歩道 1,298,000円 ・思泉の森遊歩道 121,000円 ・山の花道遊歩道 577,500円 ②ウォーキングイベントの開催 ・第11回里山まるまるマルシェ 参加者430名 委託料 398,263円 ・第12回里山まるまるマルシェ 参加者503名 委託料 399,300円 ・花咲山-棚田ウォーキング 参加者34名 委託料 98,832円 ・ストロベリービンゴウォーク 参加者200名 委託料 1,685,597円	遊歩道を整備することで、日本一歩きたくなる町としてのインフラ整備を進めることができた。 各ウォーキングイベントを開催し、町内外に歩きたくなる町としてのPRができた。 観光入込客数R467,200人 対前年比117%増
22	防災備蓄倉庫設置移設事業	1.医療体制等の確保	①新型コロナウイルス対応として、直接的・間接的に使用、必要とする備品について、より安全な場所、また、より効果的・効率的に管理できる場所に移設する。これにより、万一の災害時に、水害等の影響を受けず、すみやかな対応を行うことができる。 ②防災倉庫棚購入費外780,454円 ③防災倉庫棚699,930円(69,993円×10台) 災害備蓄品移動作業業務委託料80,524円 ④横瀬町	災害による人的被害件数:0件	総務課	R4.10.27	R5.2.17	369,389	369,389	0	369,389	0	0	コロナ過での有事に備え、感染症対策物品等災害備蓄品をより安全な場所、効果的・効率的に管理できる場所に移設した。移設にあたり、必要な柵の購入を行った。また、移設に係る作業をシルバー人材センターに委託した。 【支出実績】 ・備蓄品移動作業業務委託 36,749円 ・防災倉庫備蓄品収納棚 332,640円	感染症対策物品等災害備蓄品をより安全な場所に移設し、万一の災害時に備え、より効果的・効率的に搬出する体制を整備することができた。 災害による人的被害件数:0件
23	小中学校情報機器整備事業	4.庁舎等環境整備	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校時等にオンライン授業が配信出来るようモニターや書画カメラなどの機器整備を行う。 ②情報機器等備品購入費 46,750円×3台 34,650円×3台 書画カメラ 34,320円×2台 33,000円×2台 ビデオカメラ 66,000円×1台 大型モニター及びスタンド 185,900円×2台 デジタル採点システム 99,000円 電子黒板 762,300円×17台 ④小中学校の児童生徒及び教職員	休校時に80%のクラスで遅延なくオンライン授業を行う。	教育委員会	R4.6.6	R5.3.15	14,038,640	14,038,640	0	14,038,640	0	0	休校時等にオンライン授業が配信出来るようモニターや書画カメラなどの機器整備を行った。 【支出実績】 Chromebook用プリンター 46,750円×3台 34,650円×3台 書画カメラ 34,320円×2台 33,000円×2台 ビデオカメラ 66,000円×1台 大型モニター及びスタンド185,900円×2台 デジタル採点システム 99,000円 電子黒板 762,300円×17台	緊急時にオンライン授業をできる体制を整備することができた。 普通教室設置率100%

25	デジタル田園都市国家構想推進交付金	4.庁舎等環境整備	<p>①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIIによる、AIデマンド交通・災害時ドローン配送・観光MaaSを活用したデータ連携基盤を秩父市と連携し整備する。このデジタルイノベーションの実装に伴う町の活性化・活力向上により、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を図る。</p> <p>②秩父市が発注するデータ連携基盤とそれらに関する経費に対し拠出する負担金に充当。</p> <p>③負担金：16,800千円(総事業費140,000千円*人口割合0.12)</p> <p>■総事業費内訳</p> <p>【事業運営管理】小計22,000千円 事業全体設計・会議体運営・進捗管理(22,000千円)</p> <p>【データ連携基盤等整備】小計43,000千円 システム全体計画・開発管理(4,500千円)、データ連携基盤開発(25,000千円)、データセット連携開発(12,000千円) Location date Security Platform利用料(1,500千円)</p> <p>【ドローンサービス開発】小計21,000千円 飛行ルート設計・電波調査(12,000千円)、実飛行調査による安全性・運用評価(9,000千円)</p> <p>【AIデマンドタクシーサービス開発】21,000千円 SAVS改修費(13,000千円)、SAVS運用利用料(3,500千円)、IoTデバイス設置・データ収集(1,500千円)、共同配送サービスシステム(3,000千円)</p> <p>【観光MaaSサービス開発】小計20,000千円 サービスシステムアプリ改修(デマンド対応)(20,000千円)</p> <p>【動的データ分析・評価】小計13,000千円 分析設計・収集データGIS/AI分析(7,000千円)、行政・サービス利用評価(6,000千円)</p> <p>④横瀬町内・秩父市内</p>	まち経営課	R4.6.28	R5.3.31	13,578,840	13,578,840	7,543,800	6,035,040	0	0	<p>データ連携基盤整備、ドローンサービス開発、AIデマンドタクシーサービス開発、観光MaaSサービス開発を秩父市と共同で実施し、所要経費を人口割により、秩父市に対して負担金として納めた。</p> <p>【支出実績】</p> <p>・負担金 15,087,600円(総事業費*0.12)</p>	<p>・ドローンサービス開発 災害時等におけるドローン配送ルートを各1ルート整備</p> <p>・AIデマンドタクシー 秩父市においてはデマンドタクシーサービスを新たに実装、横瀬町では既存の乗降場所にさらに3か所乗降場所を追加</p> <p>・観光MaaSサービス 西武鉄道との共同による観光MaaSあぶり「のってみ秩父」をリリースした</p> <p>・データ連携基盤整備 上記各事業で収集したデータを集積・連携するため基盤を構築できた</p>
26	広域連携デジタル実装事業	4.庁舎等環境整備	<p>①デジタル田園都市国家構想推進交付金事業におけるデジタル実装タイプIIによる、AIデマンド交通・災害時ドローン配送・観光MaaSを活用したデータ連携基盤を秩父市と連携し整備する。このデジタルイノベーションの実装に伴う町の活性化・活力向上により、コロナ克服・新時代開拓のための経済対策を図るとともに、コロナ禍において地域に不可欠な交通手段等の確保に向けた取り組みを実施し、住民の利便性などをより向上させ、事業の収益性を確保することで、物価高騰等に対する直接的な負担軽減を図る。</p> <p>②秩父市が発注するデータ連携基盤とそれらに関する経費に対し拠出する負担金に充当。</p> <p>③負担金：16,800千円(総事業費140,000千円*人口割合0.12)</p> <p>■総事業費内訳</p> <p>【事業運営管理】小計22,000千円 事業全体設計・会議体運営・進捗管理(22,000千円)</p> <p>【データ連携基盤等整備】小計43,000千円 システム全体計画・開発管理(4,500千円) データ連携基盤開発(25,000千円) データセット連携開発(12,000千円) Location date Security Platform利用料(1,500千円)</p> <p>【ドローンサービス開発】小計21,000千円 飛行ルート設計・電波調査(12,000千円) 実飛行調査による安全性・運用評価(9,000千円)</p> <p>【AIデマンドタクシーサービス開発】21,000千円 SAVS改修費(13,000千円) SAVS運用利用料(3,500千円) IoTデバイス設置・データ収集(1,500千円) 共同配送サービスシステム(3,000千円)</p> <p>【観光MaaSサービス開発】小計20,000千円 サービスシステムアプリ改修(デマンド対応)(20,000千円)</p> <p>【動的データ分析・評価】小計13,000千円 分析設計・収集データGIS/AI分析(7,000千円) 行政・サービス利用評価(6,000千円)</p>	まち経営課	R4.6.28	R5.3.22	1,508,760	1,508,760	0	1,508,760	0	0	<p>データ連携基盤整備、ドローンサービス開発、AIデマンドタクシーサービス開発、観光MaaSサービス開発を秩父市と共同で実施し、所要経費を人口割により、秩父市に対して負担金として納めた。</p> <p>【支出実績】</p> <p>・負担金 15,087,600円(総事業費*0.12)</p> <p>計画No.25デジタル田園都市国家構想推進交付金事業のはみ出し分を地方単独事業分として整理するもの</p>	<p>・ドローンサービス開発 災害時等におけるドローン配送ルートを各1ルート整備</p> <p>・AIデマンドタクシー 秩父市においてはデマンドタクシーサービスを新たに実装、横瀬町では既存の乗降場所にさらに3か所乗降場所を追加</p> <p>・観光MaaSサービス 西武鉄道との共同による観光MaaSあぶり「のってみ秩父」をリリースした</p> <p>・データ連携基盤整備 上記各事業で収集したデータを集積・連携するため基盤を構築できた</p>



27	保育所等物価高騰対策給付事業	1.医療体制等の確保	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けている町内私立保育施設等に対し、光熱費相当分の給付金を支給することにより施設の負担軽減を図る。安定した施設運営により児童の教育・保育を確保する。</p> <p>②物価高騰の影響を受けている町内私立保育施設等の光熱費高騰分相当額として支出する補助金を充当。県補助事業として実施予定。</p> <p>③事業総額 382,500円 町内私立保育施設利用定員数225名×※県補助単価1,700円 補助対象 191,250円(382,500円×県1/2) ※県補助単価根拠 24,000円(私立保育所定員1人当たり年間光熱費)×6/12月(6月分)×14.2%(物価上昇率)≒1,700円 ④対象施設 3園(私立認定こども園1件・205名、認可外保育園2件・20名)</p>	対象保育施設定員数:225名	健康子育て課	R5.2.27	R5.3.9	809,100	809,100	0	405,100	0	404,000	<p>新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けている町内私立保育施設等に対し、光熱費及び食料費相当分の給付金を支給を実施した。</p> <p>①事業総額809,100円 光熱費 利用定員数223名×1,700円=379,100円 私立認定こども園1件205人 認可外保育施設2件18人 食料費 利用定員数215名×2,000円=430,000円 私立認定こども園1件205人 認可外保育施設1件10人 合計 379,100円+430,000円=809,100円</p> <p>②県補助対象404,000円 809,100円×1/2=404,550円 1,000円未満切り捨て≒404,000円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を大きく受けた町内私立保育施設等に支給を実施したことで、安定した施設運営による児童の教育・保育を確保する一助となった。</p> <p>補助金支給率 光熱費 223/223×100=100% 食料費 215/223×100=96.4% ※計画申請時の対象保育施設定員数に誤り有り 正:223人 誤:225人 ※食料費について、認可外保育施設1件が補助要件の対象外となり上記の支給率となった。</p>
28	高校生等生活応援支援金支給事業	2.経済対策及び生活支援	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けている高校生等に対し給付金を支給し、生活費の負担軽減を図る。</p> <p>②物価高騰の影響を受けている食費等生活費に給付金を充当</p> <p>③給付金:対象者1,076名×10,000円=10,760,000円、郵送料:1,076通×84円=90,384円 【財源内訳】 臨時交付金4,377千円、一財6,474千円充当</p> <p>④町内在住の高校生等</p>	対象世帯の受給件数100%	健康子育て課	R4.12.16	R5.2.28	10,485,116	10,485,116	0	10,485,116	0	0	<p>新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けている高校生等に対し、生活費の負担軽減を図るため、給付金を支給した。</p> <p>【支給実績】 給付金支給額 1,044件×10,000円=10,440,000円 通知等郵送料 572件(世帯)×73円=41,756円 未申請者再通知 40件(世帯)×84円=3,360円</p>	<p>町独自で新型コロナウイルス等の影響を受けている高校生等に給付金を支給したことで、生活の一助となった。</p> <p>【給付金支給率】 98.6%(1,044人/1,048人) 未申請 4人</p> <p>【給付対象者実績】 1,048人</p>
29	医療機関物価高騰対策支援金給付事業	1.医療体制等の確保	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大及び物価高騰の影響を受けた医療機関に給付金を支給し負担軽減を図る。</p> <p>②エネルギー価格高騰の影響を受けている町内医療機関に対し、補助金を支出する事業費に充当</p> <p>③600,000円(5施設×120,000円) 1施設120,000円=前年同比平均 20,000円×6月分(10~3月分)</p> <p>④町内の診療所(内科及び歯科)</p>	対象事業所5施設	健康子育て課	R5.1.5	R5.1.26	600,000	600,000	0	600,000	0	0	<p>町内の医療機関に対し支援金を交付した。</p> <p>【支出実績】 支援金 町内医療機関5か所×12万円=60万円</p>	<p>支援を行うことにより、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を受けた医療機関の負担を軽減し、医療提供体制の維持につながった。</p> <p>【支給率】100%</p>
30	下水道処理施設電力価格高騰対策支援事業	5.その他	<p>①コロナ禍において、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている町の下水道処理施設に対して本交付金(重点交付金)を充当することで事業経費等の負担軽減を図る。</p> <p>②下水道特別会計に対する一般会計からの繰出金の一部に充当</p> <p>③(R4年度電気料単価×R3年度実績使用量)による電気料支払見込額-R3年度電気料支払実績額=3,600,000円</p> <p>④対象施設:横瀬町水質管理センター、町内MP場</p>	下水道処理施設維持管理費の負担軽減を図ることに加え、一般会計繰出側の負担軽減を図る。	建設課	R4.4.1	R5.3.23	3,040,594	3,040,594	0	3,040,594	0	0	<p>下水道処理施設にかかる電気料金の高騰により維持管理費増加の影響を受けている下水道事業に対する一般会計繰出金の一部に充当し、負担軽減を行った。</p> <p>【支出実績】 下水道特別会計に対する繰出金にかかる特定財源充当額:3,040千円</p>	<p>一般会計繰出金の財源の一部とすることにより下水道事業および一般会計の負担軽減を図ることができた。</p> <p>特定財源充当額 0円→3,040千円</p>
31	新型コロナウイルス感染症自宅療養者生活支援事業	2.経済対策及び生活支援	<p>①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び新型コロナウイルス陽性者となり自宅で療養している方の生活支援のため、自宅療養者に対して生活支援物資(食料、生活必需品等)を配付する。述べ589人に配付。</p> <p>②生活支援物資購入費</p> <p>③消耗品費(トイレトイーパー、除菌ウェットティッシュ等):998,969円 食糧費(保存食、飲料等):303,564円</p> <p>④横瀬町</p>	支援物資配付人数:500人	健康子育て課	R4.4.11	R4.12.20	1,302,638	1,302,638	0	1,302,638	0	0	<p>新型コロナウイルス自宅療養者述べ589人に対して生活支援物資(食料、生活必需品等)を配付した。</p> <p>【支出実績】 消耗品費(トイレトイーパー、除菌ウェットティッシュ等):998,969円 食糧費(保存食、飲料等):303,564円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び新型コロナウイルス陽性者となり自宅で療養している方の生活支援・不安の解消の一助となった。</p>

32	妊娠出産子育て支援交付金	2.経済対策及び生活支援	<p>①コロナ禍において、婚姻件数及び出生数が減少傾向であり、少子化・核家族化が進み、地域のつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く、妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズを即した支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を実施する。</p> <p>②出産応援金(出産応援ギフト:妊娠届出時5万円)、子育て応援金(子育て応援ギフト:出産届出後5万円)</p> <p>③5,050,000円 ※内訳 出産応援金(63人×50,000円)、子育て応援金(38人×50,000円) 【財源内訳】 臨時交付金842千円、国庫支出金3,367千円、県支出金841千円充当</p> <p>④出産応援金: R4.4~R5.1出生届出者 29人 事業開始日前出生届出済者 24人 事業開始日以降妊娠届出見込 10人 計63人 子育て応援金: R4.4~R5.1出生届出者 29人 事業開始日~R5.3出生見込 9人 計38人</p>	伴走型相談支援: 面談、アンケート回収率100% 経済的支援: 出産・子育て応援金支給率100%	健康子育て課	R5.2.15	R5.3.23	4,262,198	4,262,198	2,878,000	668,198	0	716,000	<p>妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々なニーズを即した支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を実施した。</p> <p>【支出実績】 ①出産応援ギフト: 50,000円×57人 子育て応援ギフト: 50,000円×29人 ③事業実施案内通知・アンケート郵送料 12,198円</p>	<p>孤立感や不安感を抱く、妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備に寄与した。</p> <p>面談実施、アンケート回収率: 100% 応援金支給率: 100%</p>
33	住宅環境改善促進補助事業	2.経済対策及び生活支援	<p>①エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するための省エネ改修等に対する費用を補助する。</p> <p>②省エネルギー改修に係る費用の一部を補助</p> <p>③省エネ改修補助金 29件 2,900,000円</p> <p>④町内居住者</p>	申請交付件数: 25件	振興課	R4.4.1	R5.3.7	3,539,000	3,539,000	0	3,539,000	0	0	<p>交付申請件数: 33件</p> <p>補助対象工事: 51件 ・開口部の断熱性能を高める工事: 9件 1,551,000円 ・壁・屋根・天井・床の断熱性能を高める工事: 7件 446,000円 ・太陽光発電システム設置工事: 5件 236,000円 ・蓄電システム設置工事: 8件 400,000円 ・エコキュート設置工事: 19件 870,000円 ・エコジョーズ設置工事: 1件 20,000円 ・HEMS設置工事: 2件 16,000円</p> <p>※申請件数と工事件数の差は1件の申請で複数の対象工事を実施したためです。</p>	<p>既存住宅の省エネルギー改修に要した一部の費用を補助金交付することによりエネルギー負担の軽減、クリーンエネルギーの普及を図った。</p> <p>令和3年度と比較し、交付申請件数は12件、交付金額は2,438,000円の増額。</p>